

大山町初！とつとりマイスター



写真右から須山喜文さん、小西正記副町長、片木威社長。

鳥取県高度熟練技能者（とつとりマイスター）に認定されました。

須山さんは、アルミニウム水平ロール連続鋳造による鋳造母材の量産化に貢献し、海外でも技術指導されていることが評価されました。

鳥取県高度熟練技能者（とつとりマイスター）とは、鳥取県内製造業の基盤となる機械加工など26職種において、優れた技能・技術を有し、後継者育成に意欲をもつておられる方について、平成10年度から毎年、鳥取県知事が認定しているものです。平成20年度までに61人、平成21年度には須山さんを含む5人が新たに認定されました。大山町では須山さんが初の認定となります。

須山さんは認定報告のため、片木威社長とともに大山町役場を訪問し、「今後も技術を活かして社会に貢献していきたい」と抱負を述べられました。

また、須山さんが勤務する株式会社片木アルミニーム製作所大山工場も、高度熟練技術者を育成する企業風土が評価され、鳥取県高度熟練技術者認定事業所に認定されました。

鳥取県畜産ふれあい祭・畜産共進会

10月17日、東伯郡琴浦町の鳥取県中央家畜市場で、鳥取県畜産ふれあい祭と鳥取県畜産共進会が行われました。

畜産ふれあい祭は、地産地消即売コーナーやミニ動物園、家畜の絵コンクールなど、多彩な催しものがあり、大変にぎわいました。

また、鳥取県家畜共進会では、生産者の温かい手により育てられた和牛・乳牛が、各部門で出来栄えを競いました。

大山町からも多数出品され、好成績を収めました。中でも佐藤俊彦さん（萩原）の「シュガーローレンス・テラソントフィア」（5区主席）は、乳牛の部のグランプリチャンピオンに輝きました。

青空の下、共進会の輪をとおして、和牛・乳牛の資質向上への期待が大きく広がりました。

また、平成21年度酪農功労者表彰として、野口健さん（殿河内）、桑本茂幸さん（東高田）、吉田健治さん（香取）が受彰され、能力検定（牛群検定）優秀牛としては岸本英之さん（二本松）、森田雄一さん（香取）が選ばれました。



栄冠を得て記念の一枚

第2回 国道9号塩津地区交差点改良協議会

第2回の協議会が9月28日、中山農村環境改善センターで行われました。

第1回で確認した協議事項を基に、国土交通省から、右折レーンを3m幅で新設し、歩道を自転車が通行できる3.5m幅に拡幅した場合の改良図面案が提示されました。

協議会ではこれを基に、実際の交通事情や沿道の民家の存在などを踏まえた、より現実的な改良案を検討しました。



「右折レーンについては、3m幅くらいはあった方がいいが、自歩道は、利用状況からして全線3.5m幅までは必要ないので、安心・安全な交通安全対策に向けて事業を進めていく